

シーケンサで実現する

データロギング革新

データロギング機能 連携ソフトウェア

MELSECシリーズ × 北菱電興ソリューション



複数設備の生産情報を
安定して一括データ収集。

膨大なデータの集約が可能、
最適なデータを出力。

どのような特徴があるの？

MELSEC iQ-Rシリーズのデータロギング機能を活用したゲートウェイソフトウェアです。
シーケンサをサーバーとする構成にて、SDカードに一時保存した収集データをFTP通信によりPCに定期的にバッファリングを行います。

本ソフトウェアの特徴としては、クライアントとの一時的な通信不良が発生したとしても最終取得データを記憶しており、通信復帰時に途中から収集が可能のためデータを欠落させることなく、シーケンサ本来の高速性と掛け合わせることで安定したデータ収集を実現しています。

また以下の3つのポイントがあります。



Point 1 複数設備を一括データ収集

最大20台までのシーケンサへの通信をサポートしているため、複数設備の一括データ収集が可能です。
(1台あたりデータロギング設定×10個まで対応)



Point 2 膨大なデータの集約が可能

膨大なCSVデータを時系列データベース「InfluxDB」に格納し、集約処理(最大～最小、移動平均…etc)を施すことで分析に最適なデータとして出力が可能です。



Point 3 ダッシュボードで可視化

「InfluxDB」を採用することにより様々な可視化ツールと連携が可能です。「Grafana」など多彩なビジュアルで最適なグラフを用いてデータを表示することが出来ます。



今回の展示構成



現在MELSEC iQ-Rシリーズのみ対応しておりますが、お客様のニーズに応じてiQ-Fシリーズや高速データ処理等の拡張ユニットへの対応を開発検討中ですので、お気軽にご相談下さい。

展示に関する問合せ先:

